



山口製材株式会社 代表取締役 山口 英明

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・社会	社会貢献の経営方針への統合	持続可能な地域づくりに貢献すべく、社会課題を事業課題と捉え、その解決に積極的に取り組めます。	①国産杉との共生、木材不足に直面する都市圏等への安定供給		
			②2025年までに間伐材の利用・出荷量30%(約3,000m ³)増加(2022年度比)		
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	①(1)再生可能エネルギー(バイオマス発電)の促進 (2)端材のリサイクル (3)造作材の柔軟設計		
			②(1)2025年までにバイオマスボイラー、乾燥機利用率30%増加(2022年度比) (2)2025年までに畜産農家へ提供しているおが屑300t増加(2022年度比) (3)廃材を出さない加工		
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身ともに健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	①働き甲斐のある職場づくりとワークライフバランスの実現		
			②(1)地元人材の積極採用 2025年までに5人以上採用 (2)スキルアップ研修月1回開催 (3)男女間賃金の是正 (4)柔軟な休暇取得制度の運用		
社会	社会・地域活動の情報発信の推進	地域社会の一員として、地域・社会への貢献活動を積極的に行い、地域の魅力を広く社内外にPRいたします。	①木材の良さや木材の使い方(「木育」)の情宣活動		
			②(1)毎年地元小学生の職場見学受入れ (2)地元ケーブルテレビ等への出演・当社ホームページ関連テーマの更新 年1回実施		



SDGsとは

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

